# 行政評価(施策評価シート)

# 1<u>基本</u>項目

基本目標1 生涯を通じて学び育つまち

基本施策2 学校教育の充実と次代を担う子ども・若者の育成

|施策4 | 子ども・若者

#### 基本方針

子どもや若者が、社会の一員として、自立した自己を確立し、心豊かで健やかに成長するよう、支援を実施していきます。

2 指標(長期総合計画目標指標)

- <u>] ロ 1 ホ ( レ</u>	141宗\艾树心口可   四口惊泪惊/								
指標名		現場	ţ	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	目標値 (平成28年度)
指標1	青少年健全育成事業等への 参加者数	5,231人	(平成23 年度)	5,305人	5,094人	5,105人	4,124人	5,120人	6,000人
指標2	放課後子ども教室の実施校数	1校	(平成23 年度)	3校	5校	7校	7校	7校	7校
指標3	学童クラブ待機児童数	3人	(平成23 年4月)	0人	0人	2人	31人	17人	0人

3 施策を構成する平成28年度事務事業の実施・評価結果

<u>ル</u> 巴	四宋で博成りる十成20十段争份争未り夫心・計画和木									
		平成2	28年度実施	結果	評価(所管課長)				指標に係る	
No	事業名	決算/円	予算執行 率	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	方向性	重点事務事 業	
1	児童館事業の運営方法の検討	28,373,546	96.2%	計画どおり 完了	0	0	0	A		
2	学童クラブ事業の運営方法の検 討	80,347,846	98.7%	計画どおり 完了	0	0	0	A		
3	放課後子ども教室の推進	5,857,954	90.8%	計画どおり 完了	0	0	0	A	*	
4	青少年健全育成事業の実施	2,244,586	91.4%	計画どおり 完了	0	0	0	A	*	
5	地域活動団体(青少年対策地区 委員会等)への支援	4,970,463	98.6%	計画どおり 完了	0	0	0	Α		

#### 施策評価

①施策の評価

児童館・学童クラブについては、地域における総合的な遊びの場を提供する機能、保護者の就労支援や子育て支援拠点としての機能の充実に向け、管理運営方法の検討を行った。

また、子どもの放課後対策として、全小学校で放課後子ども教室を実施し子どもたちの放課後の活動場所を提供するとともに、見守りと地域の人たちとの触れ合いによる心豊かな成長を支援する事ができた。

なお、学童クラブ待機児童対策については、定員の拡大や児童館放課後サポート事業での受け入れなどにより待機児 童の解消に努めた。

地域における青少年育成事業として、地域の青少年育成団体への支援を行うとともに、青少年健全育成の日をはじめ、地域をフィールドとした田んぼ体験や、他地域との交流事業など青少年健全育成事業の実施を通じて、青少年が豊かな人間性と社会性を身に付けるための支援を行った。

青少年健全育成事業等への参加者数は、少子化による子どもの減少や習い事など子どもの生活環境の変化などにより、目標値には達しなかった。

#### ②今後の方向性(改善への取組み等)

子どもの放課後対策については、放課後における子どもの居場所づくりや見守り、遊び場や自主的な活動の場の提供、保護者の就労支援や子育て拠点など、それぞれの目的に応じて、児童館、学童クラブ、放課後子ども教室を運営していく。その中で、児童館、学童クラブの運営方法については、平成29年度は平成28年度の調査結果からみえた課題解決に向けて、安定した人材確保が図れるよう、関係部署と調整を行い体制整備に向け検討していく。

子どもや若者への支援については、今後も、青少年健全育成事業等を実施するとともに、地域活動団体などへの支援を通じて地域における青少年の育成を推進し、異世代交流や社会体験を通じて、子どもや若者が社会の一員として、地域との関わりの中で成長していけるよう支援を行っていく。

平成28名	~ <del>~</del> 1	【其木シー	· 7
ユトトレンスケ	+ 15	<del>                                    </del>	<b>~</b> I

1.基本項目	作成部署	子ども	家庭 部	児	童青少年課	
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理	
1 児童館事業の運営方法の検討	年	継続	自治事務	直営		
01 児童館の管理・運営 3館	昭和 57 年	継続	自治事務	直営		
02 杏林大学や関係機関との連携事業の実	○	継続	自治事務	直営		
03 管理運営に関する民間活用計画の策定	平成 27 年	継続	自治事務	直営	0	
04 視聴覚備品の整備等	平成 28 年	今年度限り	自治事務	直営		
05	年					
関連課						
基本目標 1 生涯を通じて学び育つ	た 施策区分	4 子。	ども・若者	事業番号	7	

2.事業の概要

事 管理運営方法について検討し、児童館で実施する各種事業について、子どもの視点に立った企画に 業 より、事業を充実します。

容

根拠法令

条例 羽村市児童館条例

要綱等 羽村市児童館条例施行規則

### 3.成果指標

成 地域における子どもの総合的な遊びの場を提供する機能や子育て支援の拠点としての機能等 果 の充実 目 標

4.活動指標

亚成27年度(現況)	3か年計画						
十成27年及(現流)	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
見童館の管理・運営 3館	同左 3館	同左 3館	同左 3館				
		同左	同左				
			民間活用による事業の充実				
	視聴覚備品の整備等						
į.	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学	平成27年度(現況) 平成28年度 平成29年度   章館の管理・運営 3館				

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

OF THE REPORT OF THE PROPERTY									
職層∙職種別	平成27年度(現況)		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	
係長職	1人	120 H	1人	120 H	1人	120 H	1人	120 H	
主事·主任職	1人	450 H	1人	450 H	1人	450 H	1人	450 H	

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	26,904	28,942	28,442	0
人件費(係長職)	605	597	597	597
人件費(主任・主事職)	1,620	1,530	1,530	1,530
総事業費(合計)	29,129	31,069	30,569	2,127
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	29,129	31,069	30,569	2,127
財源内訳(合計)	29,129	31,069	30,569	2,127

③コスト計算

ア市民56,281人における1人あたりのコストは、イ対象者9634人における1人あたりのコストは、ウ成果物の出来高

552	円
3,225	円
のコストは	

※ 対象者: 平成28年度青少年人口(O~18歳)

# 平成28年度 【事後評価】

6.実施総 レ 計画 が活動の が計画が と た た た た た が た い た い た い た い た い た の た の た の た の た の	20(実行) 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果) 計画どおり完了 】計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 】 「」遅延 】 中断 ①活動実績(Plan【計画】及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか) ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。 児童館の民間活力活用の検討結果について、報告した。 杏林大学との連携事業では、西児童館の運営事業に1名参加した。 西児童館については、DVDを購入し視聴覚備品の充実を図った。 中央児童館は、プラネタリウム投影システムを更新し事業の充実を図った。								
②投入3	<b></b>								
<u> </u>		予算額(当初)	補正•流用額	予算額	(最終)	決算額	項 執行率		
事業		28,942,000			9,492,000		3,546 96.2%		
7.成果約		20,0 12,000	000,000		,,,,,,,,,,	20,07	0,010		
	投入実績から生じた	成果(物)							
	前年度(今までのり	<b></b> (況)				になったか			
民間活	5カ活用の検討		指定管理制度0						
			導入及び運用指信 「経費の節減」及では導入による交	ヷ゙゙ヿ゙゙サー	-ビスの向	]上」の面に			
②4.活動	動指標のPlan【計画】に	おいて、目標値	を数値化している	場合					
<u> </u>	対象者(物)		本年度:目標			本年原	隻∶実績値		
					⇒				
Check(	評価】		◎・・・適切である	が、今	後、より郊	果的に改	善するもの		
8.評価		∨	〇・・・適切なもの	A 14	7L <del>**</del> 18 .	v # * * * *			
	評価(改善等、課題を発		△・・・課題があり				细巨冠体		
項目		価のポイント	カルツ 亜 4 声 来 か	i	項目の着		課長評価		
当 要   • •	上位施策(基本目標・施 今の社会情勢に見合う 利用者・対象者のニー	)事業内谷となっ	っているか	1002141	本系に結 の必要性	びつくか、 はあるか	0		
効 ヘ・	<u> </u>			成果を	を落とさす	、最少の			
効 ← in		11X +XXVI	11//////		_/,, 労力で事				
性~				行され	こているか	`			
有 △ • ⋾	事業の目標が達成され	こているか		-	ᄗᄼᅒᄪ	が表れて			
·放果 効果 と				いるか		か扱れて	O		
	評価(今後の方向性に					_			
【今後の	·方向性】 	高〔妥 ↑	当性•有効性〕				今後の 方向性		
低	B:事業の進め方の 改善の検討		事業を進めること 改善して進めるこ						
	· C:事業規模·内容又			_,, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>		加率性〕	Λ		
	D:事業の抜本的見直						A		
		 ↓ 低							
Action[	改善】								

評価から導かれる今後の課題と方向性評価(所管課長)

平成29年度については、平成28年度の調査結果からみえた課題解決に向けて、安定した人材確保が 図れるよう、関係部署と調整を行い体制整備に向け検討していく。

平成28年度 【基本シート】 作成部署 子ども家庭 部 児童青少年課 1.基本項目 開始年度|実施期間|事業種別| 事業名 運営手法 進行管理 <mark>2</mark> 学童クラブ事業の運営方法の検討 年 昭和 47 年 継続 01 学童クラブの管理・運営 12クラブ 自治事務 直営 平成 27 年 継続  $\bigcirc$ 02 管理運営に関する民間活用計画の策定 自治事務 直営 03 高学年対応の検討 平成 27 年 継続 直営 自治事務 04 年 05 年 関連課 施策区分 基本目標 1 生涯を通じて学び育つまち 子ども・若者 事業番号 6 2.事業の概要 |事||経営形態や運営方法について検討し、充実した学童クラブ事業を展開します。 業内

 事 経営形態や運営方法について検討し、充実した学童クラブ事業を展開します。

 内容

 根拠法令

 条例
 羽村市学童クラブ条例

 要綱等
 羽村市学童クラブ条例施行規則

3.成果指標

成保護者の就労支援

果目標

4.活動指標

	亚弗尔左帝(理识)	3か年計画						
Plan【計画】	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	学童クラブの管理・運営 12クラブ	同左 12クラブ	同左 12クラブ	同左 12クラブ				
	学童クラブ事業の運営方法 の検討	管理運営に関する民間活用 計画の策定	管理運営に関する民間活用 の導入準備	民間活用による事業の充実				
事業内容 事業量等	高学年対応の検討	同左	検討結果の実施					
于木里寸 	武蔵野第二学童クラブ 定員拡大 移転工事							

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

ONTE E MARKETA DE LA CONTRACTA DELA CONTRACTA DE LA CONTRACTA DE LA CONTRACTA DE LA CONTRACTA								
職層・職種別	平成27年度(現況)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
「明/宝 /リ    「明/宝 /リ	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	360 H	1人	360 H	1人	360 H	0人	0 H
主事・主任職	1人	1,500 H	1人	1,500 H	1人	1,500 H	0人	0 H

②総事業費

	<del>芯事</del> 未貸				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費	93,534	80,396	80,396	0
	人件費(係長職)	1,815	1,791	1,791	0
	人件費(主任・主事職)	5,397	5,099	5,099	0
総	事業費(合計)	100,746	87,286	87,286	0
	国庫支出金	12,600	18,960	18,960	0
	都支出金	38,828	24,701	24,701	0
	受益者負担額	0	0	0	0
	その他特定財源	25,804	26,157	26,157	0
	一般会計繰入金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	一般財源(人件費含む)	23,514	17,468	17,468	0
財	源内訳(合計)	100,746	87,286	87,286	0

③コスト計算

ア市民56,281人における1人あたりのコストは、イ対象者636人における1人あたりのコストは、ウ成果物の出来高

1,551 円 137,242 円 のコストは 円

※ 対象者: 定員

#### 平成28年度 【事後評価】 Do【実行】 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果) ☑ 計画どおり完了 ☑ 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断 ①活動実績(Plan【計画】及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか) ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。 学童クラブの民間活力活用の検討結果について報告した。 高学年対応については、施設の状況、必要性などを考慮し、今後施設の大規模改修の際などにあわ せて再検討する。 ②投入実績 予算額(最終) |決算の内訳(単位:円) 決算額 予算額(当初)┃補正•流用額 執行率 80,396,000 事業費 1,030,000 81,426,000 80,347,846 98.7% 7.成果結果 ①活動、投入実績から生じた成果(物) 前年度(今までの状況) 今年度(どういう状態になったか) 指定管理制度の導入を検討したが、「指定管理者制度 民間活力活用の検討 導入及び運用指針」において、導入する目的とされている 「経費の節減」及び「サービスの向上」の面において、現状 では導入による効果が期待できない。 ②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合 本年度:目標値 本年度:実績値 対象者(物) $\Rightarrow$ Check【評価】 ◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの 8.評価 〇・・・適切なもの ①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、 今後、改善が必要なもの 課長評価 評価のポイント 項目の着眼点 ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か 施策体系に結びつくか、 ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか 事業の必要性はあるか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか。成果を落とさず、最少の 経費・労力で事務が執

項目 妥企 効 率法 性 行されているか ・事業の目標が達成されているか 成果又は効果が表れて 効果 いるか

②事業評価(今後の方向性についての視点)						
【今後	の方向性】	高〔妥当性·有効性〕		今後の		
		<b>↑</b>		方向性		
	B:事業の進め方の	A:計画どおりに事業を進めること、又は、				
低	改善の検討	より効果的に改善して進めることが適当	高			
	← C:事業規模·内容又	は実施主体の見直しの検討	→〔効率性〕	<b> </b>		
	D:事業の抜本的見正	直し、休止・廃止の検討				
		$\downarrow$				
		低				

#### Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

### 評価(所管課長)

平成29年度については、平成28年度の調査結果からみえた課題解決に向けて、安定した人材確保が 図れるよう、関係部署と調整を行い体制整備に向け検討していく。

平成28年度 【基本シート】 1.基本項目	44	F成部署 F成部署	<b>- </b>	ごも家庭 部	原	童青少年課
事業名		開始年度	実施期間		運営手法	進行管理
3 放課後子ども教室の推進	<u> </u>	成 23 年	継続	自治事務	直営	
01		年				
02		年				
03		年				
04		<del></del> 年				
05		 年				
	<u> </u>					1
基本目標 1 生涯を通じて学	び育つまち 旅	<b>並策区分</b>	4 -	子ども・若者	事業番号	5
2.事業の概要	しまれるオギリ	=======================================	-11 4	, 1, <del>2, 1, 1, 2</del> 2 2	¥ 14 46 =0 66 4	7.I.M.
事 小学校に通学する児童の加 業 守りや自主的な活動を支援 内 容					ア校施設等を	利用し、見
根拠法令						
条例 要綱等 羽村市放課後子と	も教室実施要	.細				
3.成果指標		1 50 50 71		1 - 17 10 - 1		
成 子どもたちが、学校生活   果 地域の人たちと触れ合う。   <sub>目</sub>						<b>きもたちや</b>
4.活動指標						
Plan【計画】 平成27年度	(現況)	F成28年月	<b></b>	3か年計画 平成29年度	工	30年度
放課後子ども教 小学校7校			同左		同左 小学校7校	00平皮
事業内容 事業量等						
5.投入指標(成果の達成、及び	(活動するため	に投入す	る資源【ヒ	ト・モノ・カネ】)		
①人件費 【事務執行に要す	る人数と1人当	たりの年	間業務時	間】		D
職層•職種別	平成27年度(現		成28年度 「無質時間	□ 平成29年 計 人数   概算		成30年度 【概算時間

職層•職種別	平成27年度(現況)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
哦眉 哦性力	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H
主事•主任職	1人	300 H	1人	300 H	1人	300 H	1人	300 H

②総事業費

事	業費の内訳(単位:千円)	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費	6,939	5,755	5,755	5,755
	人件費(係長職)	252	249	249	249
	人件費(主任・主事職)	1,080	1,020	1,020	1,020
総	事業費(合計)	8,271	7,024	7,024	7,024
	国庫支出金	0	0	0	0
	都支出金	4,074	3,719	3,719	3,719
	受益者負担額	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般会計繰入金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	一般財源(人件費含む)	4,197	3,305	3,305	3,305
財	源内訳(合計)	8,271	7,024	7,024	7,024

③コスト計算

ア市民56,281人における1人あたりのコストは、イ対象者1186人における1人あたりのコストは、ウ成果物の出来高

125	
5,922	円
のコストは	F

※ 対象者: 放課後子ども教室登録人数

# 平成28年度 【事後評価】

<b>Do【実行】</b> 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、 レ計画どおり完了 □ 計画を ①活動実績(Plan【計画】及び ※計画を見直し完了、遅延、「	を見直し完了(% 事中評価におけ	欠年度以降計画を! ける改善について本	見直す) (年度どのよ		□ 中断 施したか)
子どもたちが、学校生活以外たちと触れ合うことができる環(H27年度:実績) H26年度で(H28年度:計画) 7校実施(H28年度:実績) 同上	の場で、体験活 境を作り、心豊	動や交流活動を通かな成長を支援し	がで、異年的 た。 38人		5や地域の人
②投入実績			7 M 45/ 19 / 16	\ <b>  \</b>	G   +1, /= ++
決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)		予算額(最終 0.455.6		
事業費	5,755,000	700,000	6,455,0	000  5,85	<b>7,954</b> 90.8%
ハス未和未 <u>①活動、投入実績から生じた</u>	成里(物)				
前年度(今までのり		今年	度(どういうも	:態になったか	١)
・子どもたちの放課後の活動は		・H23年度に東小			•
ることで、見守りと子どもたちの動の支援を行った。		度で7校全て実施・異年齢の子どもかとで、見守りと子ど	済み。 たちの放課後	後の活動場所	を提供するこ
②4 活動化槽のロッパ製両孔。	ナソング・ロー挿ば	5七米はループリス	坦ム		
②4.活動指標のPlan【計画】に 対象者(物)	<u>. おいて、日 保</u> 値	■を剱旭化している 本年度:目標(			 度∶実績値
为条有(物)		平十尺.口际		本午)	文·大帜吧
			⇒		
Check【評価】 8.評価 ①事業評価(改善等、課題を多	発見する視点)	<ul><li>◎・・・適切であるが</li><li>○・・・適切なもの</li><li>△・・・課題があり、</li></ul>			
	価のポイント			)着眼点	課長評価
妥 û ·上位施策(基本目標·施 当 要 ·今の社会情勢に見合 性 <sup>*</sup> ·利用者·対象者のニー	事業内容となっ	っているか		:結びつくか、 !性はあるか	0
効 ♀ ・活動手法を見直し、人			<u>!</u> ¦成里を茨レ	さず 是小の	
別 手 「石動子広で見直し、八」 率 計	□ 泉 尹禾貝♡□	ロコ//ダノハンE1の/みひ・//)、	経費・労力	で事務が執	
効(手を法を見直し、人作率法 性)			行されてい		
有 ( ・事業の目標が達成され 効 <sub>果</sub> 性 ( )	こているか			果が表れて	0
②事業評価(今後の方向性に	ついての視点)		•		
【今後の方向性】 	高〔妥≌ ↑	当性•有効性〕	1	ſ	今後の 方向性
B:事業の進め方の 低 改善の検討 ← C:事業規模・内容又 D:事業の抜本的見直	より効果的に は実施主体の見		とが適当	高 〔効率性〕	Α
Action【改善】 評価から導かれる今後の課題	-				

評価(所管課長)

児童の放課後の活動場所の一つとして、改善を行いながら継続していく。

平成.28	年由	【基本シー	Ľ
DV. / C	一	し基本ソー	Γ.

1.	基	本項目			作成部署	子ども	家庭 部	児:	童青少年課
				事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
4	青	少年健:	全育	成事業の実施	昭和 57 年	継続	自治事務(市 独自)	直営	
	01				年				
	02				年				
	03				年				
	04				年				
	05				年				
	関	車課	生	涯学習センターゆとろぎ					
砉	本	目標	1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	4 子。	ども・若者	事業番号	1

2.事業の概要

容 根拠法令 条例

要綱等 青少年健全育成の町宣言 3.成果指標

|成||青少年の健全育成に必要な環境の整備と育成支援 果目

標 4.活動指標

Dian(計画)	平成27年度(現況)	3か年計画					
	Plan【計画】 平成27年度(現況)		平成29年度	平成30年度			
事業内容 事業量等	健全育成の集い・子どもフェスティバル 2,688人ポスターコンクール、社会参加実践活動 476人少年少女球技大会、大島子ども体験塾、夢チャレンジセ	同左 1,800人	同左 2,700人 同左 1,800人 同左 965人	同左 2,700人 同左 1,800人 同左 965人			

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層∙職種別	平成27年度(現況)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	130 H	1人	100 H	1人	130 H
主事•主任職	1人	150 H	1人	180 H	1人	150 H	1人	180 H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	2,403	2,456	2,456	2,456
人件費(係長職)	504	647	498	647
人件費(主任・主事職)	540	612	510	612
総事業費(合計)	3,447	3,715	3,464	3,715
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	590	720	720	720
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	2,857	2,995	2,744	2,995
財源内訳(合計)	3,447	3,715	3,464	3,715

③コスト計算

56,281 人における1人あたりのコストは、 ア市民 9634人における1人あたりのコストは、 イ 対象者 ウ 成果物 の 出来高

66	円
386	円
のコストは	円

※ 対象者: H28年度の青少年人口(0歳~18歳)

# 平成28年度 【事後評価】

Do【実行】 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、				<b>海</b> 延	□□山焼			
☑計画どおり完了 □計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) □遅延 □中断 ①活動実績(Plan【計画】及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか) ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。								
・青少年健全育成の日事業については、ポス	・青少年健全育成の日事業については、ポスターコンクール入賞者や青少年健全育成功労者の表彰、 大島・子ども体験塾の活動報告を行い、また、各地区の子どもたちを中心に企画・運営する模擬店の出							
・社会参加実践活動については、地域の子と 掃活動を行った。								
・大島・子ども体験塾については、あきる野市 躍する意欲のある小学5・6年生と中学生を ・少年少女球技大会については、ソフトボール	対象に、大島町で樹	長々な体験	事業	を行った。				
たチームで優勝を競い合った。 ・夢チャレンジセミナーについては、「めざせ 小・中学生の夢の実現のため起業意識の高				院長に講館	<b>币を依頼し、</b>			
②投入実績         決算の内訳(単位:円)       予算額(当初)		予算額(最		決算額				
事業費 2,456,000 7.成果結果		2,45	6,000	2,24	<b>4,586</b> 91.4%			
1.成果結果 ①活動、投入実績から生じた成果(物) 前年度(今までの状況)	→ <b></b>	帝/ じふい	いた能	になったか	<b>,</b> )			
普段関わることの少ない地域の大人や異年	普段関わることの							
齢の子どもなどとの交流の中で、子どもが	士の交流の中で、							
主体的に行動する経験を通じて、豊かな人	て、豊かな人間性		を育む	ための環	境整備と支援			
間性や社会性を育むための環境整備と支援を行うことができた。	を行うことができた							
②4.活動指標のPlan【計画】において、目標们	<u>値を数値化している</u> ┃  本年度∶目標ſ		ĺ	+ 左 !	变∶実績値			
対象者(物)	本平長:日保1	旦		本年)	支: 夫祺胆			
			⇒					
Check【評価】       ◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの         8.評価       ○・・・適切なもの         ①事業評価(改善等、課題を発見する視点)       △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの								
項目 評価のポイント			の着		課長評価			
妥 🖫 ・上位施策(基本目標・施策)を達成する		施策体系						
当 要 ・今の社会情勢に見合う事業内容とな	つしいるか	悪衆の必						
性 <sup>□</sup> ·利用者·対象者のニーズ(需要)はあ 効 ○ ·活動手法を見直し、人件費·事業費の		出田 <i>大</i> 落	L-+-#	・旦小の				
効 (  ・活動手法を見直し、人件費・事業費の   率 手				$\cap$				
効 ( ・活動手法を見直し、人件費・事業費の 率 法 性 )	行されているか							
有 ූ ・事業の目標が達成されているか			効果					
カ <sub>成</sub>			いるか					
②事業評価(今後の方向性についての視点)								
					今後の			
【今後の方向性】 高〔妥: ↑	当性·有効性〕							
↑ B:事業の進め方の A:計画どおりに	こ事業を進めること			[	方向性			
↑ B:事業の進め方の A:計画どおりに 低 改善の検討 より効果的に	こ事業を進めること こ改善して進めること		高					
↑ B:事業の進め方の A:計画どおりに 低 改善の検討 より効果的に ← C:事業規模・内容又は実施主体の	こ事業を進めること こ改善して進めること 見直しの検討			加率性〕				
↑ B:事業の進め方の A:計画どおりに 低 改善の検討 より効果的に	こ事業を進めること こ改善して進めること 見直しの検討			<b>力率性</b> 〕				
↑ B:事業の進め方の A:計画どおりに 低 改善の検討 より効果的に ← C:事業規模・内容又は実施主体の	こ事業を進めること こ改善して進めること 見直しの検討			加率性〕				

評価(所管課長)

今後も継続して実施していくことで、青少年が心豊かな人間性と社会性を身につけるための支援を行っていく。

	基本シート】		/ <del>/!</del>	<del>. 40 m</del>	7 184			10:	<del>立                                    </del>
1.基本項目	事業名			:部署 :年度	チとも 実施期間	家庭 部	運営:		童青少年課 進行管理
5 地域活動団体(青の支援		委員会等)。			纵绘	<u>事未性別</u> 自治事務(市 独自)	施行者へ助・助成	への補	连门自在
01				年		34,117	23 23/90	•	
02				年					
03				年					
04				年					
05				年					
関連課									
	涯を通じて学	ひ育つま	ち 施策	区分	4 子	ども・若者	事業	番号	3
2.事業の概要	<u> </u>	18111111111	ましたさ		L 0+1234	· 17 12 - 14.	<u> </u>		1. <i>1- 1- 1-</i>
事 青少年対策地 業 します。 容 根拠法令 十	区安貝会な	と地球の	育少年育	)	<b>本への文</b> 抜き	: 囲して、地	ツにおい	<b>ブ</b> る育:	少年を育成
条例									
	市青少年対策	策地区活	動費補助	金交位	甘要綱 他				
3.成果指標 成 地域における 果 目 標	青少年健全	育成の推	進						
4.活動指標									
Plan【計画】	平成27年度	度(現況)	亚턴	28年月		3か年計画 <sup>2</sup> 成29年度		<u>ज्य स्ट</u> र्	
	青少年育成団体	本への活動	同左	(20+)	同左	- 1火23 十   文	同左		00千尺
事業内容事業量等	支援 9団体		9団体		9団体		9団作	<b>*</b>	
5.投入指標(成果									
	<b>熱行に要す</b>	<u>る人致と</u> 平成27年			间耒務時间 <u>。</u> 成28年度	】 平成29年	E度	亚克	<b>以</b> 30年度
職層•職種	連別		算時間	人数	概算時間		<del>F/区</del> 時間	人数	概算時間 概算時間
係長職 主恵 主な際		1人	20 H	1人	20 H	1人	20 H	1人	20 H
主事·主任職   2 総事業費		1人	30 H	1人	30 H	1人	30 H	1人	30 H
事業費の内訳(		平成27年	度(現況)	平日	成28年度	平成29年	E度	平原	成30年度 
事業費	<del>, -</del>   <b></b>	1.2427	5,048		5,039	1 15020	5,039	1 /3	5,039
人件費(係長聯	鈛)		101		100		100		100
人件費(主任・	主事職)		108		102		102		102
総事業費(合計)			5,257		5,241		5,241		5,241
国庫支出金 都支出金			0		0		0		0
			U		U				
	İ		0		0		0		0
<ul><li>・耐又山並</li><li>・受益者負担額</li><li>その他特定財</li></ul>	•				0		0		0
受益者負担額 その他特定財 一般会計繰入	源		0 0 0		0		0		0
受益者負担額 その他特定財	源 .金		0		0		0		0

財源内訳(合計)

ア市民56,281人における1人あたりのコストは、イ対象者9634人における1人あたりのコストは、ウ成果物の出来高

5,257

5,241

93 544 円 のコストは 円

5,241

5,241

※ 対象者: H28年度の青少年人口(0歳~18歳)

# 平成28年度 【事後評価】 Do【実行】 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果) に対します。 に対して、4.活動指標と、5.投入指標の結果) に対して、次年度以降計画を見直す) 遅延 中断 ①活動実績(Plan【計画】及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか) ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。 青少年対策地区委員会や青少年育成委員会などの、地域の青少年育成団体への支援を通じて、地域 における青少年の健全育成を推進した。 ②投入実績 決算の内訳(単位:円) 予算額(当初) | 補正·流用額 | 予算額(最終) 決算額 執行率 事業費 5.039.000 5.039.000 4.970.463 98.6% 7.成果結果 ①活動、投入実績から生じた成果(物) 今年度(どういう状態になったか) 前年度(今までの状況) 青少年対策地区委員会など地域の青少年 青少年育成委員会、青少年対策地区委員会、青少年対 育成団体への支援を通じて、地域の青少年 策地区委員会連絡協議会など地域の青少年育成団体へ 育成を行った。 の支援を通じて、地域における青少年の健全育成を推進 ②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合 本年度:目標値 本年度:実績値 対象者(物) $\Rightarrow$ Check【評価】 ◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの 8.評価 〇・・・適切なもの ①事業評価(改善等、課題を発見する視点) 人・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性		施策体系に結びつくか、 事業の必要性はあるか	0
効率性 (手法)		成果を落とさず、最少の 経費・労力で事務が執 行されているか	0
有効性	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れて いるか	0

117 ~ 1		<u>l</u>		
②事業評	価(今後の方向性に	ついての視点)		
【今後のた	与向性】	高〔妥当性·有効性〕		今後の
		<b>↑</b>		方向性
E		A:計画どおりに事業を進めること、		
低	改善の検討	より効果的に改善して進めること		_
← (	C:事業規模·内容又	は実施主体の見直しの検討	→〔効率性〕	<b>.</b>
	D:事業の抜本的見直	這し、休止・廃止の検討		
		$\downarrow$		
		低		

# Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

#### 評価(所管課長)

今後も継続して青少年対策地区委員会など地域の青少年育成団体への支援を行うことで、地域における青少年の健全育成を推進していく。